

連携中枢都市圏ビジョン懇談会	
令和7年3月25日	
担当課	鳥取市政策企画課

「因幡・但馬麒麟のまち創生総合戦略」の策定について  
 ～広域リージョン連携のさらなる深化に向けて～

1 経緯

- 国においては、石破総理が所信表明演説で「地方創生2.0」として地方創生を再起動すると表明されました。内閣に「新しい地方経済・生活環境創生本部」を設置し、今後10年間集中的に取り組む「基本構想」の策定に向けて議論が進められています。
- また、石破総理は本年1月の通常国会の施政方針演説において、「地方創生2.0」を推進する5つの柱を設け、その1つに、都道府県境を超えた広域連携の新たな枠組みである「広域リージョン連携」を位置付けることを表明されました。
- 麒麟のまち圏域においては、これまでも県境を超え、単独の市町では解決が困難な課題を共有しながら連携して圏域全体の持続的・一体的な発展に取り組んでまいりました。
- この圏域市町の連携は、まさに「広域リージョン連携」の考え方を先取りした取組であり、これをさらに深化・発展させることが「地方創生2.0」の実現につながるものと考えております。
- これを機に、1市6町が気持ちも新たに、地方創生の次の10年に向けてスタートするとともに、取組をより効果的に推進するため、「圏域版の総合戦略」を策定したものです。



2 計画期間

令和6年度～令和9年度

☞ 「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」(令和5年度～令和9年度)にあわせます。

3 ビジョンと戦略の関係

「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」に定めた事業のうち、圏域の地方創生を加速させるため、圏域の市町が連携して重点的に取り組む主な事業を「重点事業」として位置づけます。

なお、重点事業は毎年度見直しを行うものとします。

